

指導計画・評価規準（1 学年 社会科 地理的分野）

学期	月	指導内容	評価規準
1	4	第1部 世界と日本の地域構造 第1章 世界の姿	世界の姿 【知識】大陸と海洋の分布や世界に国々などの世界の地域構想について理解している。 【思考】世界の地域構造の特色を多面的・多角的に思考し、表現している。 【態度】世界の地域構造について興味を持った事柄について、課題意識を持ち、追究しようとしている。
	5 6	第2章 日本の姿	日本の姿 【知識】時差、領域の範囲などから、日本の地域構造を理解している。 【思考】日本の地域構造を領域や周りの海洋などと関連づけて、多面的・多角的に表現している。 【態度】日本の地域構造について、課題を設定し、それについて追及しようとしている。
	6 7	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	人々の生活と環境 【知識】生活がその場所の自然環境や社会的条件から影響を受けたり、影響を及ぼしたりしていることを理解している。 【思考】世界各地の人々の生活の特色やその変容を自然環境や社会的条件などから多面的・多角的に考察し、表現している。 【態度】世界各地の人々の生活の様子や変容から、課題を設定し、それについて追及しようとしている。
2	9	第2章 世界の諸地域	世界の諸地域
	10	第1節 アジア州	【知識】地域の人々の生活をもとに各州の地域的特色を大観し、理解している。
	11	第2節 ヨーロッパ州	【思考】州という広域的なまとまりの中で、その地域内での結びつきや、州ごとの結びつきなどについて、地域的特色と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。
	12	第3節 アフリカ州 第4節 北アメリカ州	【態度】世界の諸地域について、各州の地域的特色を踏まえたうえで、課題を設定し、追及しようとしている。
3	1	第5節 南アメリカ州	
	2	第6節 オセアニア州	
	3	世界地理のまとめ	

1	4	【歴史】	第1章 1節 【知識】 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 資料から歴史にかかわる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりする技能を身に付けている。 【思考】 時期や年代に着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 【態度】 歴史学習に向けて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。
		第1章 歴史のとらえ方・調べ方 1節 歴史の流れをとらえよう	
	5	2節 身近な歴史をとらえよう	
	6		
	7	第2章 原始・古代の日本と世界	
	9	1節 人類の出現と文明のおこり	
2	10	2節 日本の成り立ちと倭の王権	第2章 【知識】 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 【思考】 地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態度】 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、課題を主体的に追究しようとしている。
		3節 大帝国の出現と律令国家の形成	
		4節 貴族社会の発展	
	11		
3	12	第3章 中世の日本と世界	第3章 【知識】 原始・古代の社会の様子について、写真や想像図などの資料から読み取る技能を身につけている。 【思考】 写真や想像図などの資料から、原始・古代の社会の様子について読み取り、その変化について考察している。 【態度】 写真や想像図などの資料の読み取りを通して、原始・古代の学習の見通しを立てている。
	1	1節 武家政治の始まり	
		2節 ユーラシアの動きと 武家政権の変化	
		3節 結びつく民衆と下剋上	
	2		
	3		